

To and Kanzo-To (Kampoyaku, Traditional Herbal Medicines) on Serum Testosterone Levels in Hyperandrogenic Women, The 9th Asian & Oceanic Congress of Obstet. & Gynecol, 1983, 9, Seoul.

11) Yaginuma T., Izumi R., Nagasaka T. and Yamagishi M. : Mechanism for Danazol to Inhibit Ovulation-its Effect on Blood LH Pulses, The 9th Asian & Oceanic Congress of Obstet. & Gynecol, 1983, 9, Seoul.

12) Yaginuma T., Izumi R., Nagasaka T. and kawabata M. : Differences in Urinary Catecholamines Concentration Between Deliveries in Lithotomy and Sitting Position, The 9th Asian & Oceanic Congress of Obstet. & Gynecol, 1983, 9, Seoul.

13) 泉 隆一, 川端正清, 細川 仁, 新居 隆, 長阪恒樹: 子宮頸部扁平上皮癌の化学療法—ヌードマウス移植株による検討から—。第31回日産婦学会北日本連合地方部会, 1983, 10, 金沢。

14) 八木義仁, 新居 隆, 津留明彦, 長阪恒樹, 川端正清, 細川 仁, 山岸雅司, 伏木 弘, 梅 雅司, 泉 隆一: 電気分解法による局所胎盤血流量測定を試み, 第31回日産婦学会北日本連合地方部会, 1983, 10, 金沢。

15) 新居 隆, 泉 隆一, 柳沼 恣, 長阪恒樹, 川端正清, 細川 仁, 山岸雅司: 尿中 Hydroxyproline の子宮頸癌骨転移診断法としての評価。第21回日本癌治療学会総会, 1983, 10, 名古屋。

16) 長阪恒樹: プロスタグランディンについて, 富山県女子薬剤師会, 1983, 11, 富山。

17) 細川 仁, 加藤 潔, 川端正清, 泉 隆一: 著明な骨形成能をもつ子宮体部平滑筋肉腫の一例。第22回日本臨床細胞学会秋季大会, 1983, 11, 長崎。

18) 長阪恒樹, 新居 隆, 泉 隆一: 当科における体外受精のための採卵時期決定法。第19回日本不妊学会北陸支部総会, 1983, 12, 金沢。

19) 寺田為義, 梅田慶一, 片山 喬, 泉 隆一, 新居 隆: AIH により妊娠した逆行性射精の1例。第19回日本不妊学会北陸支部総会, 1983, 12, 金沢。

講 師 栗 原 秀 行
講 師 山 田 祐 司
助 手 宝 田 千 賀 子
助 手 中 屋 博
助 手 山 下 泉
助 手 石 田 俊 郎
助 手 田 中 良 則
助 手 浅 香 猶 子
助 手 田 畑 晃
技 官 水 見 由 美 子

◆ 著 書

1) Nose H., Nakamura Y., Asanagi K., Nose T. : Transcranial orbitotomy for orbital tumor surgery : International Congress of Ophthalmology : 1039-1042, 1983.

2) 中村泰久: 眼窩腫瘍のCT像。「眼科MOOK 19, 眼の腫瘍性疾患」, 202-210, 金原出版, 1983.

◆ 原 著

1) 窪田靖夫: 網膜色素変性症患者と運転免許および交通事故の問題。眼臨医報 77 : 17-18, 1983.

2) 窪田靖夫, 窪田叔子: 富山県における視覚障害者の統計的観察。眼臨医報 77 : 429-433, 1983.

3) 窪田靖夫: 網膜色素変性症の薬物療法。日本の眼科 54 : 79-80, 1983.

4) 窪田叔子, 窪田靖夫, 飯田博行, 大谷 勲: 角膜変性を伴った原発性 Oxalosis の1例。日眼会誌 87 : 639-643, 1983.

5) 飯田博行, 寺田康人, 窪田叔子: 骨髄肉芽腫とぶどう膜炎を伴った急性間質性腎炎(Dobrin 症候群)の1例。日内会誌 72 : 1414-1419, 1983.

6) 窪田叔子: Sieman Syndrome. 小児内科 15 : 1983臨時増刊号 639-640, 1983.

7) 窪田叔子: Urbach Wieth Syndrome. 小児内科 15 : 1983臨時増刊号 707-708, 1983.

8) 栗原秀行: 1眼に網膜色素変性症, 他眼に色素性傍静脈脈絡膜萎縮症類似の所見を認めた1例について。臨床眼科 37 : 38-39, 1983.

9) 宝田千賀子, 中屋 博, 氷見由美子: 乳児, 幼児の屈折検査成績とくに9カ月児および1歳6カ月児について。臨床眼科 37 : 923-928, 1983.

10) 宝田千賀子, 氷見由美子: 弱視および内斜視の屈折異常について。眼臨医報 77 : 120-125, 1983.

11) 宝田千賀子, 山田祐司, 中村泰久: いわゆる Miotic Induced Malignant Glaucoma の1例。日眼紀 33 : 866, 1983.

眼 科 学

教 授 窪 田 靖 夫
助 教 授 中 村 泰 久
講 師 窪 田 叔 子

12) 宝田千賀子, 中村泰久, 柿栖米次: 日本人の眼瞼の形態と瞳孔間距離との関係, 第1報, 成長期(7才~14才). 眼臨医報 7: 157, 1983.

13) 宝田千賀子, 中村泰久: 超音波による眼窩骨構築の表われ方について. 日眼紀 34: 119, 1983.

14) 宝田千賀子, 窪田靖夫: ウロキナーゼ大量療法が奏効したと思われる網膜中心動脈閉塞症の1例. Med. Postgrad. 21: 21, 1983.

15) 宝田千賀子, 窪田叔子, 窪田靖夫: 再発性硝子体出血を併発した先天性鎌状剝離の1例. 日眼紀 34: 1976-1979, 1983.

16) 窪田叔子, 窪田靖夫, 渡辺誠介: 富山県および千葉県における視覚障害者の比較検討. 眼臨医報 77: 425, 1983.

17) 窪田叔子, 窪田靖夫: 富山県および千葉県における失明原因の比較検討(続報)とくに先天性眼疾患について. 眼臨医報 77: 434, 1983.

18) 窪田叔子, 石田俊郎: Dobrine 症候群の1例. 日眼紀 34: 160-165, 1983.

19) 窪田叔子, 山田祐司: 定型的な眼症状および全身症状を呈した Fabry 病の女性例について. 日眼紀 34: 798-803, 1983.

20) 石田俊郎, 中村泰久: 涙嚢窩・鼻涙管およびその周辺のCT所見. 日眼紀 34: 101-106, 1983.

◆ 学会報告

1) 窪田靖夫: 色覚異常者と信号灯色光の誤認について. 第37回日本臨床眼科学会, 1983, 9, 東京.

2) 山本文昭, 桶本忠司, 窪田靖夫: 衝動性眼球運動の潜伏期について. 第49回日本中部眼科学会, 1983, 11, 東京.

3) 窪田靖夫: 交通信号灯色光の識別と背景との関係について. 第25回交通眼科学会, 1983, 12, 東京.

4) 窪田靖夫: 富山医科薬科大学附属病院開院後4年間の眼科患者統計. 第8回富山眼科集談会, 1983, 12, 富山.

5) 窪田靖夫: 富山県下の心身障害者施設収容者の眼疾患について. 第202回千葉眼科集談会, 1983, 12, 千葉.

6) 中村泰久, 浅香猶子, 遠藤俊郎: Supraorbital approach による眼窩腫瘍摘出術. 第1回眼腫瘍研究会, 1983, 6, 富山.

7) 中村泰久: シンポジウム・眼窩疾患の手術療法(再建). 第21回北日本眼科学会, 1983, 6, 富山.

8) 中村泰久, 浅香猶子, 遠藤俊郎: 眼窩腫瘍に対する眼窩縁を中心とした骨切り術について. 第37

回北陸医学会, 1983, 9, 石川.

9) 窪田叔子: 白内障手術の際に発見された両側性 Lentiginosus の1例. 第7回富山眼科集談会, 1983, 7, 富山.

10) 岡本 剛, 窪田叔子: 朝顔症候群の1例. 第37回北陸医学会眼科分科会, 1983, 9, 金沢.

11) 窪田叔子: 中途失明者の社会復帰に関する調査結果について. 第2回金沢医科大学眼科研究会, 1983, 11, 金沢.

11) 山田祐司, 開 繁義, 中村泰久: 前房穿刺後の家兎房水成分の経時的变化. 第87回日本眼科学会総会, 1983, 5, 京都.

13) 開 繁義, 山田祐司, 栗原秀行, 中村泰久: セフェム系およびオキサセフェム系抗生剤の静注による人眼房水内移行. 第3回眼薬理研究会, 1983, 5, 京都.

14) 山田祐司, 開 繁義, 中村泰久: 高速液体クロマトグラフィーによる人眼房水成分分析. 第37回北陸医学会, 1983, 9, 金沢.

15) 開 繁義, 山田祐司, 石田俊郎, 中村泰久, 本瀬賢治. 高速液体クロマトグラフィーによる房水成分の測定(第1報). 第21回北日本眼科学会, 1983, 6, 富山.

16) 山田祐司, 石田俊郎, 尾崎真由美, 山下 泉: 富山医薬大附属病院開院4年開の裂孔原性網膜剝離の手術成績. 第8回富山眼科集談会, 1983, 12, 富山.

17) 宝田千賀子, 氷見由美子: 弱視および内斜視の屈折異常について. 第37回日本弱視斜視学会, 1983, 6, 名古屋.

18) 宝田千賀子, 中屋 博, 氷見由美子: Posterior fixation suture が有効であった Nystagmus blockage syndrome の2症例. 第37回日本臨床眼科学会, 1983, 9, 東京.

19) 宝田千賀子, 氷見由美子, 福島玲子: 当科における内斜視の屈折状態について. 第7回富山眼科集談会, 1983, 7, 富山.

20) 中屋 博, 窪田叔子: システン症の病理組織所見. 第264回金沢眼科集談会, 4, 金沢.

21) 中屋 博, 田中良則: レーザー照射による緑内障治療. 第37回北陸医学会眼科分科会, 1983, 9, 金沢.

22) 山下 泉, 中村泰久, 北川正信, 三輪淳夫: 眼窩に発生した腺様嚢胞癌の1例. 第1回眼腫瘍研究会, 1983, 6, 富山.

23) 山下 泉, 石田俊郎: 蛍光眼底写真により塞栓の移動を認めた網膜動脈分枝閉塞の1例. 第7回

富山眼科集談会, 1983, 7, 富山.

24) 田中良則, 山本文昭, 山田祐司: 光凝固により著明な視力改善を示した網膜細動脈瘤の1例. 第264回金沢眼科集談会, 1983, 4, 金沢.

25) 田中良則, 山下 泉, 山田祐司, 窪田靖夫: 12才女子にみられた Optic pit の1例. 第7回富山眼科集談会, 1983, 7, 富山.

26) 田中良則, 中村泰久, 遠藤俊郎, 岡 伸夫, 北川正信, 三輪淳夫.: 頭蓋内進展を認めた眼窩内 paraganglioma の1例. 第49回日本中部眼科学会 1983, 11, 岐阜.

27) 田中良則, 桶本忠司, 窪田叔子: 長期装用ソフトコンタクトレンズの使用経験, 第8回富山眼科集談会, 1983, 12, 富山.

28) 石田俊郎, 中村泰久: 富山医科薬科大学眼科眼窩疾患外来における統計的観察. 第36回北陸医学会総会, 1983, 9, 金沢.

29) 石田俊郎, 山田祐司, 開 繁義, 中村泰久: 高速液体クロマトグラフィーによる涙液内抗生剤移行濃度の測定. 第53回九州眼科学会, 1983, 6, 福岡.

30) 石田俊郎, 将積日出夫: めまい患者における眼底血圧測定結果, 第8回富山眼科集談会, 1983, 12, 富山.

31) 浅香猶子, 中屋 博, 三輪淳夫: 著明な網膜血管新生と硝子体出血をきたしたサルコイドーシスの1症例. 第7回富山眼科集談会, 1983, 7, 富山.

32) 浅香猶子, 窪田叔子, 木村通郎: アレルギー性結膜疾患における蛍光抗体の分布について. 第8回富山眼科集談会, 1983, 12, 富山.

33) 田畑 晃, 石田俊郎: 黄斑円孔の他眼の経過観察. 第2回金沢医科大学眼科研究会. 1983, 11, 金沢.

◆ 著 書

1) 渡辺行雄: ENG 検査へのコンピュータの導入. 「めまい・臨床の基礎」鈴木淳一編, 155-176, 現代医療社, 1983.

◆ 原 著

1) Mizukoshi K., Kobayashi H., Ohashi N. and Watanabe Y.: Quantitative analysis of the human visual vestibulo-ocular reflex in sinusoidal rotation. *Acta Otolaryngol. Suppl.* **393**: 58-64, 1983.

2) Mizukoshi K., Watanabe Y., Watanabe I., Okubo J., Matsunaga To., Matsunaga Ta., Takayasu S., Kato I. and Tanaka T.: Subjective and objective evaluation of medical treatment in Meniere's disease. -With special reference to dose response for adenosine triphosphate. *Adv. Oto-Rhino-Laryng.* **30**: 355-361, 1983.

3) Watanabe Y., Ohashi N., Kobayashi H., Takeda S. and Mizukoshi K.: Computer analysis of electronystagmography recordings in routine equilibrium examinations. *Adv. Oto-Rhino-Laryng.* **30**: 187-192, 1983.

4) Mizukoshi K., Watanabe Y., Ohashi N. and Kobayashi H.: Effects of pendular optokinetic stimulation on the center of gravity during the Romberg test. *Agressologie* **24**: 79-80, 1983.

5) Mizukoshi K.: Quantitative assessment of visual-vestibular interaction using sinusoidal rotation in patients with vertigo. Abstracts, Fifth Asia-Oceania Congress of ORL Societies, 62, 1983.

6) Ohashi N., Watanabe Y., Kobayashi H. and Mizukoshi K.: Quantitative analysis of smooth pursuit eye movements using continuously changing sinusoidal waves. Abstracts, Fifth Asia Oceania Congress of ORL Societies, 245, 1983.

7) 水越鉄理, 渡辺 勲, 松永 亨, 桧 学, 小松崎篤, 高安助次, 時田 喬, 松永 喬, 草刈 潤, 加藤 功, 中野雄一, 石川和光, 鈴木淳一, 石井哲夫, 大久保 仁, 徳増厚二, 香取早苗, 武藤二郎, 北村博之, 渡辺行雄, 原田康夫, 田頭宣治, 牛尾信也, 調 重昭, 萩野 仁, 酒井国男, 浅井英世, 田中恒雄, 鬼武一夫, 菅田勝也: 末梢性耳性めまいに対する adenosine triphosphate の臨床評価—多

耳 鼻 咽 喉 科 学

教 授	水 越 鉄 理
助 授	渡 辺 行 雄
講 師	大 橋 直 樹
助 手	小 林 英 人
助 手	麻 生 伸 夫
助 手	吉 田 行 夫
助 手	中 川 肇 哉
助 手	大 井 秀 嗣
助 手	浅 井 正 嗣
文部技官	武 田 精 一